



社会福祉法人鶴風会

後援会ニュース

No.7 (昭和53年)
社会福祉法人鶴風会
後援会

東京都武蔵村山・学園4-10-1
☎0425-61-2521
事務所・東京都中野区
本町2-15-13 ☎03-372-7650

後援会ニュース7号をおとどけます。

去る一月、後援会が行いましたアンケートの報告と、長年、病院で奉仕活動を続けていらっしゃる「しいの実会」ボランティアの原稿を掲載いたしました。

実りある福祉を

社会福祉法人鶴風会後援会会長

近 藤 龍 一

昭和五十三年も早や二月を迎えました。

後援会のみなさま、きびしい寒さの中をご機嫌いかがでいらっしやいましょうか。

みなさま方のお蔭をもちまして当会は昨年も充実した年をおくることが出来ました。みなさま方の暖かいお力添えを心より感謝申し上げます。

後援会で病院に助成しました訓練室のテレビも完備し、より療育効果をあげることが出来るようになり、また、庭に設置した遊び道具(ブランコ、すべり台、遊動円木)では大喜びの子供達の生き生きとした表情が私どもの気持を和やかにしてくれております。

最近の社会の風潮は末世的状態と申しましようか、不況はまだ当分続きそうですし、倒産・就職難・子供達の非行・自殺・障害児を持つ親の前途悲観からの心中など毎日新聞を開くのがこわいような数々の事件が多い毎日です。

その中で、心身障害児を持つ父母の会が、互いに手を取り合って「山彦の会」を結成したという武蔵野市の話、また、若いボランティアの協力と多くの人達の資金カンパによって、自閉症児を一年にわたってありのままに記録した映画「あるアプローチ」の完成という話などは、この仕事にたづさわ

る私どもに暗夜に灯をみるような思いがいたしました。

選挙の度にクロイズアップされる福祉問題。国だけにまかせては行かないという、一人ではささやかながその輪が広がり大きな力になるためにまづ一步をふみ出すというケース、それらを見たり、読んだりする度に新聞・テレビなどマスコミの大切さ必要性を痛感します。

後援会としては今年も、子供達の療育効果をさらに高め高度な内容を維持するために懸命になっている病院に出来る限り助成すべく努力いたも心算です。そして障害児の実体をもっと一般の方々知っていたら一人でも会員をふやすべく広報の活動に力を入れたいと思っております。

おわりにみなみなさまのご健康とご活躍を心より祈りあげますとともに、今後とも変らぬ御支援を御願ひ申し上げます。



アンケート報告

石油ショック以後、福祉政策はしだいに後退しつつあるといわれています。

政策の貧困を訴える声がある反面、高福祉高負担を恐れて現状維持やむなしとの声もあります。

ジリジリと物価の上昇が続き、他人を思いやるゆとりが失われて

ゆく現在の社会は脳性マヒ、肢体不自由などの障害を持った方々やその家族にとって一層きびしいものであることは事実です。

自分に関係のない事柄に対しては無関心というのが、あたりまえのことになりかかっています。

一般の方々には社会福祉をどう考え

ていらっしゃるのでしょうか。

鶴風会後援会では去る一月、武蔵野市を中心に三百名の主婦を対象としてアンケート調査を行いました。

寝たがり老人、障害者のいらっしゃるご家庭では福祉に対する関心は当然のことながら高いと思われまますので、今回はそうしたご家庭をさけ、ごく一般の家庭を選ばせて頂きました。

■質問1 福祉の諸問題の中で最も関心の高いものはどれですか
二十代から五十代の各年代を通して最も関心の高いのは老後の問題で、六三%をしめます。

年代別に比較すると二十代では四三%、三十代では五五%、四十、五十代では七六%と上昇し、二十代では三五%を示した保育施設の問題は三十代一八%、四十代〇と下降の傾向をたどります。

自分の生活環境と密接な関連を持つテーマには高い関心が示され、障害児(者)福祉など一般と関連のうすいテーマに対しては比較的無関心で、今後の道のきびしさを思わせます(図一)

■質問2 脳性マヒとはどういふものか御存知ですか
「知っている」七五%、「聞いたことはあるがよく知らない」は二四%、「全く知らない」はわず

か一%にすぎません。

最近マスコミでたびたび脳性マヒの問題がとり上げられ「脳性マヒ」という言葉だけはかなりなじみ着してきたと言えるでしょう。

しかし「知っている」の中には小児マヒとの混同もあり正確な知識が滲透してきたというには、まだ今一步の観があります。

■質問3 障害児(者)施設、老人ホームなどの実体について、もっとよく知りたいと思いませんか
「思う」八六%に対して「思わない」一四%。圧倒的多数の人々がこうした施設に対して関心を寄せ、機会があれば見学したい希望を持っています。

この傾向は障害児施設よりも老人ホームに対して更に強く、真剣になっています。

■質問4 今までにボランティア活動に参加したことがありますか
「ある」一九%、「ない」八一%。数の上からはまだまだ少数ですが、それでも五人のうち一人が教会、地域の婦人団体などを通してボランティア活動に参加した経験を持っています。

■質問5 今後、機会があればボランティア活動に参加したいと思いますか
「思う」六八%、「思わない」三二%。かなりの数のボランティア

がチャンスを得ないままに埋もれていることになりました。

施設、団体の人手不足は、この潜在するボランティアの力をひき出し吸収することで、ある程度解決のするのではないのでしょうか。

その手段、方法は今後の課題と言えるでしょう。年代別に見ると自己中心的傾向の強い二十代が最も低く、三十代、四十代ではわずかながら上昇します。

最も時間的にゆとりの出て来る五十代で逆に低下してゆくのはさびしいことです。が、目前にせまった自分の老後のことで頭がいっぱいと言うことでしょうか(図2)

これからは婦人の余暇が増え、生きがいともからんでボランティア活動のしめるウエイトはさらに重くなってゆくことと思われます

■質問6 政府の福祉対策について
「これで充分」一%、「まあまあ」二〇%、「もっと積極的にやるべきである」七九%。五人のうち四人までが積極策を支持していますが、高福祉高負担でこれ以上の増税を恐れる気持も強く、自分に負担のかからない範囲で積極的に押し進めて欲しいとその内側は複雑です。

図1 最も関心のある福祉問題

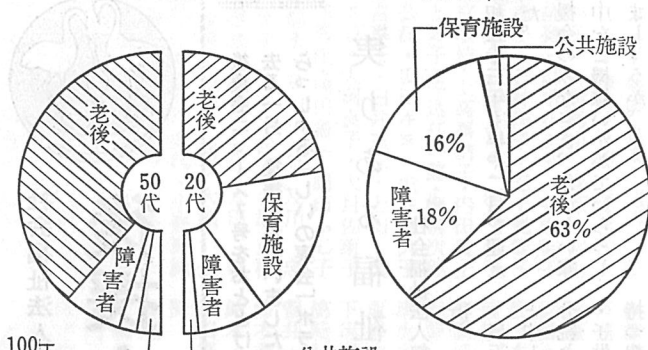
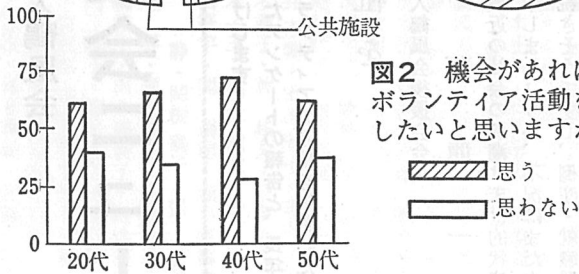


図2 機会があればボランティア活動をしたいと思いませんか



しいの実

明治大学 白幡 智子

コ笑って私を見ているだけで、あまり食べてくれません。気を散らして髪をひっぱったり、よそ見をしたりします。結局、最後の方は看護婦さんに「こちら、良江食べなさい」って怒られてしまいました。

私をはじめ「みどり愛育園」を訪れたのは、四月末のさわやかな日でした。重症心身障害児施設と聞いていたので、いったいどんなところかしら？という、かすかな不安と、前から施設を訪れてみたいという希望がかなった喜びで興奮する胸をおさえて、野菜畑に囲まれた「みどり」につづく道を歩いていました。

「みどり」を訪れた二、三日目は「この子達はなにもわかんないのかな？」という気持ちで空しくなりました。でも遠足や父兄が訪れた時の子供達のあの生き生きとした笑顔や、最初はムツッリしていたのに慣れてきて私に笑顔をみせてくれる子供達を見ると、なんだかとてもうれしくなって「みんながんばれよ」って思わず肩をたたきたくなっちゃうんです。

この十月で私の「みどり」への訪問は七回目になりました。ほかの「しいの実」の人達と比べるとまだまだ未熟ですが、私は私なりに、このごろ子供達の表情がすこしずつわかってきたような気がします。

はじめ、建物の大きさに比べて「みどり」自体はわりに小さいなと感じました。後で人に聞いてみると建物の中に病院もふくまれているとのこと……納得。

はじめは三号室ばかりで世話をしていたのですが、このごろは二号室、一号室のお世話もさせて貰っています。子供達の名前もどうやらほぼ覚ええました。しかし、まだまだこれからです。

「みどり」の子供達に刺激をあ

たえる意味で毎週開く音楽会、子供達は勿論のこと父兄も看護婦さんもみんな一縮になって、大好きな歌を歌います。

みんなの声がひとつになって青空高く「みどり愛育園の子供達がんばれ、みんながんばれ」とこだまします。

「みどり」には私たちに言えないような問題もあるでしょうし、看護婦さんや役員のみなさんも本当に御苦労なさっていると思います。でも、これからもみんなを力合わせて「みどり愛育園」をみんなの学園として子供達のためにがんばっていただきたいと思えます。

「ともしびを高く」を見て

杉並区立永福小学校PTA

山下 道子

脳性マヒ児を持った親たちが絶望せずに、ひたすら子供のために努力する姿に感動しました。

もしわが身だったら、とても自信がない、くじけそうだというのが映画を見終っての正直な気持ちでした。

健康な子だったら、なんでもな

い動作のひとつひとつが映画の子どもにとっては汗みどろの至難のわざです。

いつもはうるさく、さわがしい四年生全員がシーンと声ひとつなく画面をみつめていました。恵まれた彼らはどんな気持ちで映画をみていたのでしょうか。

夜、四年の息子が「映画をみるまで考えなかったけれど、あんな身体に生まれてこなくてよかったなあ。ボクなんか階段四だんくらい軽く飛びおられるよ。あたりまえだと思ってたけれど、そうじゃない人もいるんだね。どうしてなの？」と、いいました。

あたりまえのことがあたりまえに出来ない人がこの世に多勢いる、どうしてなのでしょう。

映画のあとの藤永先生のお話で脳性マヒ児の原因の大半が母親のちょっとした不注意であることが指摘され、また未熟児の十人に一人は身体障害児になると知らされて、強いショックを受けました。

未熟児の出生率もどんどん増加しているという事実を近い将来、母親になる若い人たちは知っているのでしょいか。

育ちざかりの中学、高校生が栄養のバランスを考えず、ただ歌手やタレントのようにやせたい一心

でかたよった食事をしたり、結婚適令期の娘さんたちが美容食でスタイルを気にしているのを見るにつけ、「知らない」ということこのわさを感じます。

家族の中に一人でも脳性マヒ児がいれば本人は勿論、家族の苦労、努力は大変なものであると思います。それも全治の望みがない場合が多く、長い長い試練がつづくわけです。

それを考えたとき、私たち母親が胎児にとって母体の健康と栄養がどれほど大切かということを考え、母になるにはそれなりの責任と自覚を持って健康な子どもを産むよう努力することが大切だと思います。

しかし、戦時中の食物のない時代、栄養のバランスなどといってられない時代にも障害児は産まれていたのでしょうか。

私が育ったまわりにはそんな人はひとりもいませんでしたし、未熟児も肥満児もいませんでした。

栄養だ、カロリーだとさわぎたて物質面で恵まれている時代にかえって未熟児が増え、障害児が増えているという事実は、現在の社会に欠陥があることを、はっきりと語っているのではないのでしょうか――。

後援会寄付者御芳名

バザー寄付者をふくむ
アイウエオ順・敬称略
五二・六一五二・一二

青木幹恵・浅利重子・天野まき子
青木ゆう・青木よし子・雨宮三千次
安西美代・雨宮キヨイ・安東敬子
新 幸子・荒川あや・阿部賢昭
阿久津絹江・天野悦男・青木 瞬
厚味かよ子・天沼恭子・足達みき子
朝野勝子・浅古光蔵・出井 道
飯田昭子・大飼礼子・井上照子
井上瑞穂・市川高吉・今野信子
伊藤 礼・板倉玉子・石川静子
五十嵐いづ子・稲垣正子・池田愛子
石田文枝・稲葉真理・池田 聖
石原 純・伊村欣祐・伊藤友二
井上裕子・一宮勝也・家原小文治
井口昌亮・市川ハナ子・今野英子
幾瀬孝子・石神洋子・五十嵐繁子
井上種子・石原恵子・白井潔子
宇都宮幸枝・上高嘉納子・内田貴士
浦田とめ子・牛込莊一郎・梅宮次郎
梅原公江・瓜田キヌ・生井喜久子
宇都宮京子・白井重三・上田 茂
江田フジ・大岡良子・大月佐東子
大久保秀雄・岡田善一・岡田ふじ子
大谷明子・及川 貞・及川 忠
岡田孝子・大下久代・小原正樹
小樽夏加・緒方 月・太田 崇
小俣文菜・小川 清・大熊 進
大熊はつみ・長田安代・小野沢純
奥田嘉門・太田安雄・岡本シモ
尾藤澄子・大曲治世・笠原 克
笠井 和・加藤太郎・川合朝子
河原 節・勝見富美・川島文子
加納桂子・釜淵登志・柏木美香子
亀谷 了・数井ふさ子・金子忠子

蒲内科・郭 博文・勝田三枝子
金子田鶴子・河合富子・川島フミ子
亀井英子・金沢好子・片桐義子
河合典子・菊地久子・岸田千代子
岸本義一・木内徹子・菊岡豊二
木村甲子郎・岸本茂次郎・岸 直枝
木金ハツ子・倉島摂子・栗田行雄
山下孝子・桑原章吾・美藤正
倉富孝子・呉 みどり・呉 綾子
久山 斌・久保田トモ子・栗田菊枝
熊谷さち・小林信子・小出 誠
小林敏博・小林昭子・児玉筆子
小林義郎・近藤澄子・駒林とめ子
小櫃温江・河野博太郎・古賀和子
後藤マン・後藤千恵子・小林京子
神戸文子・後藤静江・小林秀子
小池 清・近藤みさ子・佐々木明子
佐藤つや・佐藤欣治・左京 福
斉藤イサヲ・斉藤英子・斉藤道正
佐藤 銅・佐藤英俊・猿橋勝子
佐藤タミエ・坂元八千代・指田和明
佐々木庄八・佐藤瑞枝・佐藤義美
西條 道・佐古崇二・佐古政穂
斉藤成太郎・佐藤良子・斉藤永津子
坂梨ミチ・佐藤 香・柴田富美
清水友代・島津淺之進・篠塚清志
東海林幸子・白浜光子・柴田とら
下田喜久代・嶋野 栄・塩入田裕
嶋崎紀代子・鈴木繁雄・鈴木禎子
菅井正朝・末吉美子・鈴木信宏
鈴木君子・菅 邦夫・須藤さき子
鈴木文子・鈴木龍太・鈴木淑子
須田経宇・関 瑞穂・瀬川富喜代
関 静・関 瑞喜子・関 若菜
瀧尾 昇・園部静子・高橋百合子
田鍋庸子・田中満智子・高橋和子
竹内三郎子・瀧野文三・谷口量子
田中政五郎・田中彰夫・田中三重子
武谷ピロピ・竹田北照・竹中久三
竹内文雄・高木輝雄・高橋三代子

高梨 昊・田郷寿正・多田正子
田崎トシ・多比良勉・田島高子
高井貞子・高橋知愛子・隆タツ子
平 恭子・竹中美智・高橋京子
田中 勲・田中信子・千葉広子
津金修作・塚本正子・筒井こてふ
塚田成子・樋谷海雄・土屋満枝
鶴見秀男・敦賀笑子・鶴岡佐子
出構昭子・手塚まち子・友田伊佐子
戸田芳江・外山千枝子・豊田登喜子
豊田道子・徳重隆幸・遠山富美子
中島由紀・中館君枝・中村富美代
中野敏江・中村登紀子・中川富士
長野文子・直井喜美子・中平貴子
中山年子・長島シゲ・中山久子
永崎みのる子・直井治子・二宮文乃
長井千鶴子・西田二郎・新実静江
西村喜美子・西本麗子・西田文子
西川鯉三郎・西岡 将・韭山まり子
庭田文子・福津雪枝・野崎成子
信岡やう子・野水正司・野水志都子
野村章恒・能勢勇一・野津ゆきの
野原 彰・長谷川千余子・馬場 進
馬場ヨシ・蓮沼ゆき・林 堪子
秦 和子・蜂谷イソ子・半沢紀子
林 敬・林 益美・林寿 匡
萩谷淑子・原 信子・林敬一郎
蓮田 清・半田登喜代・林 馨
橋本フユノ・萩沢 博・萩原すみ子
日野テヨコ・日根妙子・平沢幸子
平山ゆき・弘瀬律子・樋口正俊
日上和子・疋田照子・福田千里
福田栄子・笹木トキ・藤森市子
藤本貞子・藤井京子・藤森利子
布施京子・古田典子・藤田トミ
船津夫佐子・福永光子・藤津順子
古川 明・別森かね子・堀友之進
堀内千鶴子・星野和子・本多英二
本多広江・松岡知恵子・松岡玉枝
松沢義人・増田富士子・真木篤子

▽お知らせ△

☆前回のバザーは売上げ、二百八十一万七千八百九十円。寄付金、九十四万四千八百四十五円で商品仕入れ及び諸経費を除く純益、三百三万四千七百九十九円になりました。
☆後援会ニュースは年二回発行の予定です。紙面に皆様のご意見をとりあげたいと思いますので、お気づきの点、又は病院見学を御希望の方は後援会あてにお知らせください。

今年のバザーにエプロン製作を予定していますので、不用の木綿の残り布などございましたらお送りくださるか、御一報くださいませ。

〈病院扱分寄付者御芳名〉

丸山和子・町田純一・舘田寿馬
山名実枝子・山本政東・山崎トキ子
牧野忠夫・松尾利子・松本美枝
前田エツ・牧野アツ・松下美代
依田幸子・横山正子・芳野由以
松藤千代子・増田良二・前田以久世
宮崎明子・三浦真一・三宅重男
若杉隆三・渡辺和子・渡辺古都江
三戸 緑・宮川和幸・宮田誠子
渡辺 茂・渡辺静子
三島 治・三島祝子・宮本一郎
宮沢 香・宮永 豊・宮下裕江
三宅泰雄・宮崎よし・宮坂静子
水上淳子・水戸浜江・三輪篤信
三原千代子・村上純一・村上リョウ
村井トク・武藤京子・村田憲三
村松功雄・武藤キヨ・村上 通
守矢公平・本橋 猛・森田和子
守屋孝子・百瀬貞子・森川幸江
森田てい・守田文彦・森 金彌
望月悦子・諸岡チカ・森田 正治
柳田寛子・矢野康子・山崎律子
山本寛子・山下文子・山本仁也
山本双葉・柳谷紀子・山田潤史郎
柳原福代・山田三枝子・薬師寺成子
山崎義郎・山川昌一・柳田 阜
屋代英也・山田公美・柳瀬路子
安間弘樹・山本節子・山口マサ
武村青果店
東京芝浦ライオンズクラブ・明大
しいの実会・小野美也・国際婦人
福祉協会・小川きみ・脳性マヒ児
を守る会・野村証券(株)・安田火災
海上(株)・大仁商店・堀越 洋・帰
山悦郎・田沢製作所・小俣喜久子
菊池プレス工業(株)・高垣益子・実
務教育出版(株)・東京ギフト連盟・
吉田消毒研究所・山口燃料店・タ
カノ時計店・セイコー自動車・学
藤電気保安事務所・興国産業科学
研究所・文明堂・松本知広・昭島
市社会福祉協議会・小山書店・山
田肉店・春木 栄・三啓運輸(株)・
森田正治・日本火災海上保険(株)・